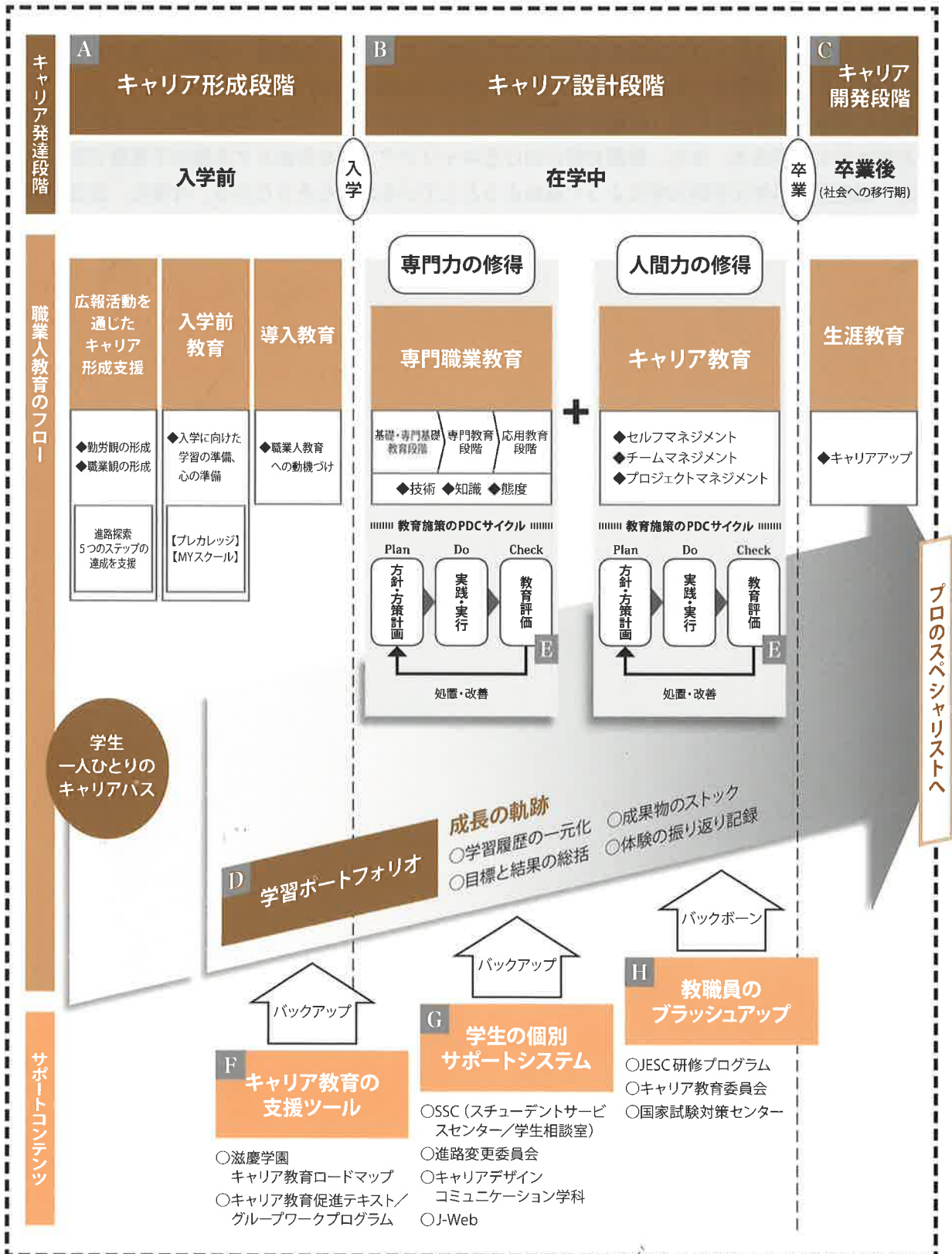


## 1 滋慶学園 キャリア教育体系と教育設計ガイドライン



キャリア教育のコンセプト… 職業人としての「身構え・気構え・心構え」の育成を図る人間教育

【キャリア教育の方略 具体例】

キャリア発達段階	職業人教育のフロー	方 略 例				
		目 的	実施プログラム例	内容と方法		
キャリア形成段階	<p>学生一人ひとりのキャリアパス</p> <p>学習ポートフォリオ</p> <p>成長の軌跡                      (「今」の確認と「今後」の課題発見)</p> <p>○学習履歴の一元化                      ○成果物のストック                      ○目標と結果の総括                      ○体験の振り返り記録                      etc</p>	広報活動を通じたキャリア形成支援	勤労感・職業観の形成	(機会として) ○ガイダンス ○体験入学	<input type="checkbox"/> 進路探索5つのステップ 1) 自己理解 2) 職業と学校の理解 3) 啓発的体験 4) 進路選択肢の絞り込み 5) 進路先決定	
		入学前教育	入学後に向けた心の準備	○プレカレッジ ○MYスクール	<input type="checkbox"/> 主題・体験の経験化	
		導入教育	職業人教育への動機づけ	○導入教育	<input type="checkbox"/> 導入教育プログラム 1) プロへのビジョン～行動の原則～ 2) 始まりのイニシエーション 3) クラスの集団の適正化	
		専門職業教育	基礎・専門基礎教育段階	専門力の修得 ◆技術 ◆知識 ◆態度	○カリキュラムデザイン	<input type="checkbox"/> カリキュラムデザインのフレーム ▶養成目的 ▶教育目標 ▶学年目標 ▶学期目標 ▶シラバス ▶コマシラバス
			専門教育段階			
			応用教育段階			
		キャリア教育	人間力の修得 ◆セルフマネジメント ◆チームマネジメント ◆プロジェクトマネジメント	○キャリア教育プログラムデザイン	<input type="checkbox"/> プログラムパターンⅠ 【HR活用】 HRを活用したキャリア教育プログラムを設計し実施する方法 ▶プログラムデザインのフレーム ・目標・実施期日・主題・内容 <input type="checkbox"/> プログラムパターンⅡ 【イベントの活用】 年間の各行事にキャリア教育課題を設定し、実施する方法 ▶プログラムデザインのフレーム ・目標・実施行事・課題内容・教育方法 <input type="checkbox"/> プログラムパターンⅢ 【プログラムパターンⅠ＋Ⅱ】 プログラムパターンのⅠとⅡをあわせて実施する方法	
		教育評価	問題発見・処置・改善	○アンケート ○試験	キャリア教育の方向性を提示 ▶専門職業教育： 授業アンケート/定期試験 ▶キャリア教育： JESCキャリアサポートアンケート	
		サポートコンテンツ	キャリア教育の支援ツール	キャリア教育促進の支援	○教材	ex1：テキスト 1) キャリア教育ロードマップ 2) Hand Book Of Life Style 3) コミュニケーションスキルアップ ex2：グループワークプログラム 1) プロへのビジョン～行動の原則
			学生の個別サポートシステム	個別事情に応じた支援	○心理カウンセリング ○進路変更対応 ○キャリア再構築	▶SSC (Student Service Center) ▶進路変更委員会 ▶キャリアデザインコミュニケーション学科 ▶J-Web
教職員のブラッシュアップ	教職員のスキルアップ支援		○JESC研修プログラム ○キャリア教育委員会	▶教職員カウンセリング研修 ▶進路アドバイザー研修 ▶キャリア教育カウンセラー研修 ▶国家試験対策センター		
キャリア開発段階	プロのスペシャリストへ	プロのスペシャリストとしてキャリアアップ	○新たな目的・目標 ○進級/進学/留学	<input type="checkbox"/> 研究科 ▶海外留学 ▶大学編入 ▶大学院大学 ▶単位履修生		